

農業委員会だより

農業者等との意見交換会

農業委員会は2月1日、江釣子地区交流センターで農業者等との意見交換会を開催しました。

同意見交換会は毎年、北上市の農業の発展に向けて、農業者の意見を幅広く取り入れるために行っており、今年は農業者ら79人が参加。第1部は、6つのテーマに分かれて意見交換が行われ、各班からさまざまな意見が出されました。

主な意見は次のとおりです。



「食育・農育」をテーマに意見交換を行う農業者

① 農業所得の向上

・ 経費の削減として技術支援、農機具の共有が必要。

・ 他市に比べて、北上市の農業予算が少なく感じている。

・ 他市に比べて農産物のアピールが不足しており、ブランド化・産地化に結びついていない。

② 担い手・後継者の育成

・ 後継者を育成したいが、人材確保が難しい。

・ 空き家を利用して新規就農者、後継者を育てたいと考えている。

③ 中山間地域の農業

・ 条件の悪い土地が多く農地の維持が大変である。

・ 中山間地域の農業の活性化について、どこに重きを置くのが重要ではないか。

④ 農地中間管理事業による農地集積

・ 農地中間管理機構による農地の賃借情報を地域に分かるようにしてほしい。

・ 貸す側の、農地集積や畦畔^{けいはん}除去などの簡易基盤整備への理解と、所有農地に対する意識改革を求めたい。

⑤ 食育・食農

・ 学校給食センターに提供している地元産の食材の割合が以前より増えている。

・ 農業体験は、地域の活性化や体験を受け入れる側の勉強にもつながる。

⑥ 新規就農・若手農業者

・ 新規就農するにはハードルが高すぎる。



担い手後継者の育成について意見を述べる農業者

・ しがらみやしきたりに縛られず気軽に農業がしたい。

各班に共通する意見も多く、米価の下落による影響、農業者の高齢化、担い手の減少の声が多く挙げられました。意見交換の後には班ごとに出た意見を全体で共有。第2部ではフリートークタイムとして各参加者が農業について自由に意見交換を行いました。

農業委員会では、これらの農業者の声を反映していけるよう、営農持続や促進強化に向けて、今後の活動に生かせるよう努めていきます。

(農業委員 小田嶋勝治)

第2回北上市農業委員会全体会議

農業委員会は2月28日、プランニュー北上で第2回北上市農業委員会全体会議を開催しました。

同会議は、農業委員と、農地利用最適化推進委員が互いの活動について情報の共有を図るためのもので、農業委員、農地利用最適化推進委員合わせて46人が出席。佐藤幸太郎会長が「28年度は北上市農業委員会が新体制となつて初めての年。この1年間、手探りで進めてきた部分が多かつた。2年目となる29年度につなげるためにも農業委員、農地利用最適化推進委員の皆さんには建設的な意見をどんどん出してほしい」とあいさつしました。会議では、主に28年度の1年間の活動の内容の振り返りを行い、課題・反省点を洗い出し、意見交換を行いました。



あいさつをする佐藤会長

■審議データ

農地の権利移転・利用権設定等審議内容

農地法	上段 審議件数		下段 面積(m ²)
	12月	1月	
3条	3	5	3
	11,797	6,831	6,399
4条	1	1	1
	308	1,342	856
5条	9	6	5
	3,039	3,423	11,040
適用外証明	2	1	0
	1,150	1,188	0
農用地利用集積計画	45	59	114
	288,939	377,851	853,733

- ◎農地法3条…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転する場合
- ◎農地法4条…自己所有農地を転用する場合
- ◎農地法5条…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転して転用する場合
- ◎農地法適用外証明…農地を20年以上他の目的に使用しており農地の復元が不可能な場合
- ◎農用地利用集積計画…農地の所有権、賃借権などの権利を設定または移転する場合で受け手側が大規模農家の場合

農業で地域貢献を

佐藤 孝志さん
（39歳・和賀町煤孫）



固形燃料の「モミガラライト」を手にする佐藤さん

佐藤さんは、主に水稻栽培を行っている若手農業者です。東京農業大学を卒業し、地元の農業法人である株式会社西部開発農産に8年ほど勤務。家業の水稻栽培を受け継ぎました。
 現在、佐藤さんは、水稻以外に

もとうもろこし、キャベツなどの野菜を栽培しています。2年前からは市の特産品であるセリの栽培も始めました。また、農業分野だけでなく、水稻栽培の際に出たもみ殻を押し固めた固形燃料「モミガラライト」の生産にも挑戦しています。
 農業を楽しみながらいろいろな事にチャレンジする佐藤さんに、どのような思いで活動しているのか伺ったところ「自分たちが作ったものを地元で流通させたい。少しでも地元の経済の流れが活発になれば嬉しい」と語っていました。若い農業の担い手が少なくなってきた中、さまざまな活動に励んでいる佐藤さん。これからも活躍が期待されます。

（農業委員 佐藤幸枝）

平成28年度
 農業団体と北上市議会
 議員との研修交流会

農業団体と北上市議会議員との研修交流会は1月19日、ホテルシティプラザ北上を会場に開催されました。

当日は、北上市議会議員と花巻農業協同組合・岩手中部土地改良区・岩手県農業共済組合・北上市農業委員会の役員など、約100人が参加。岩手中部土地改良区の及川哲郎理事長のあいさつの後、農林水産省農村振興局整備部設計課課長補佐の細川直樹氏と、株式会社西部開発農産代表取締役会長の照井耕一氏を講師に迎え、講演を行いました。

細川氏は、「新たな土地改良長期計画の個性と活力のある豊かな農業・農村の実現を目指して」と題し、3つの政策課題と6つの政策目標を図や現地写真を交えて講演。照



講演に耳を傾ける参加者

井氏は、「地域に根差した大規模複合経営（ベトナム展開）」をテーマに、若い頃の農業体験や会社設立からの年間の苦労話、ベトナム農業の現状と立ち上げたベトナム現地法人「有限会社西部農産ベトナム」として水稻や野菜の栽培に取り組む熱意を話しました。
 質疑応答の後は、情報交換会が行われ、来年度から始まる収入保険制度などの農業政策の話題を中心に、農業団体と北上市議会とで交流を深めました。

（農業委員 高橋民行）

農作業労賃標準額

29年度の農作業労賃標準額を決定しました。

29年度の標準額については、農業委員会総会で審議を行い、前年度の標準額を一部変更して決定されました。変更点は次のとおりです。

- 「人力の部」
 - ・畑作業の標準額を変更（上乗せ）
- 「機械の部」
 - ・作業名の変更（水田防除↓防除）
 - ・防除作業に適用機械を追加（ブームスプレーヤ）

なお、詳細については9ページに農作業労賃標準額表を掲載していますのでご覧ください。また、農作業労賃標準額表は、市のホームページでも公開します。